

こんにちは、平和学園で2000年-2005年育てていただいたまりなです。

今私が暮らしているオーストリアの首都ウィーンでは、マスクがようやく安定して手に入るようになりました。マスクは公共交通機関とスーパーの利用時に着用が義務付けられているため、これはとても大きなこと。そして人と人との距離を強制的に保つため、多くのスーパーではカートを押しての買い物が義務付けられています。

私はつい最近3ヶ月留学していたロンドンからウィーンに戻ったのですが、懐かしい景色の中の3ヶ月前との変化に、まだ時々胸がキュッとします。

人と会う、過ごすことが当たり前だった生活を恋しく思う気持ちは世界共通。日本にもきっと、3ヶ月前どころか1ヶ月前には想像もつかなかった生活を強いられることになった方々が大勢いらっしゃるでしょう。中でも学校という場は、一番影響を受けている機関のうちの一つに違いありません（27歳ですが、私もまだ留学生として学校機関にはお世話になっています！）。

なくなったクラスの代わりにこの状況が私に学ばせたのは、会えなくて辛いと感じるほど好きな人と、なくなって悔しくなるほど貴重な機会に今まで恵まれてきたということです。「あの人にもこの人にも会うはずだったのに」「あれができるはずだったのに」そう思うのは自然なことです。人間ですもの。でも、それと同時に、あるいはそう思った少し後に、大好きな人と過ごした楽しい時間、今までいただいた様々なチャンスに感謝できるようにありたいと思っています。

この曲に、家で過ごす方々の、そして家にいる人々のため働く方々の、心身の負担を減らすお手伝いが少しでも出来ますように。また笑顔で平和学園を訪れる日を楽しみにしています！